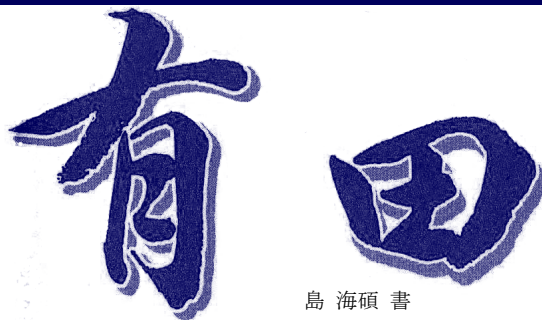


No.2974

2020-2021年度

会 長 橋爪 誠治
幹 事 井上 修平
R広報委員長 菅原 佳典



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2020-2021年度クラブ方針

自制心と結束力を繋ぐ理解のハーモニー
「学ぶLearning・感じFeeling・動くMoving」



本日のプログラム

令和3年6月10日 第2975回

・委員会活動報告

・ソング:「それでこそロータリー」

前回の報告(第2974回例会)

開催日 令和3年6月3日(木)

点 鐘 [橋爪(誠)君]

今月の誕生・結婚祝

(川口親睦活動委員長)

会員誕生:なし

配偶者誕生:成川恵美さん、上野山千穂さん、
岩橋逸子さん

結婚記念日:中元君



おめでとう
ございます!!



ニコニコ箱の報告

[上野山(栄)SAA]

橋爪(誠)君:成川守彦会員、本日の卓話準備誠にありがとうございます。ロータリーの未来について、考える良い機会にさせていただきます。本年度2度目卓話感謝です。

井上君:成川先生、本日の卓話よろしくお願いします。

成川(守)君:本日、卓話させていただきます。

脇村君:成川先生、本日の卓話よろしくお願いします。

松村君:成川先生、卓話楽しみにしています。勉強させていただきます。

川口君:本日の卓話、成川先生、宜しくお願い致します。勉強させていただきます。

嶋田君:成川先生、卓話楽しみにしています。よろしくお

次回のお知らせ

令和3年6月24日 第2976回

・最終例会

会長・幹事報告「一年を振り返って」

・ソング:「四つのテスト」

願います。久しぶりに皆さんとお会いできて嬉しいです。

上野山(栄)君:成川先生、本日の卓話よろしくお願いします。本当に気になる所です。

出席報告

本日の会員数28名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数 名

(出席規定免除会員 名)

会長の時間

[橋爪(誠)会長]

「散歩道」

私の年度で、会員チャレンジを実施していることは覚えていらっしゃるでしょうか?

早いもので、残すところあと1か月をきり、今日を入れてあと3回の例会となりました。私のチャレンジはダイエットを目指しております。

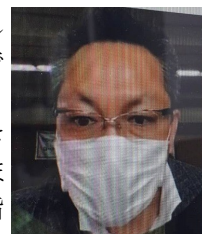
残りあと1か月ですので、ラストスパートのつもりで日曜日に眺望の良いハイキングコースに2週連続行ってきました。

とてもお天気も良く、また眺望も最高でしたのでご存知かも知れませんが、皆様にハイキングコースをご紹介します。

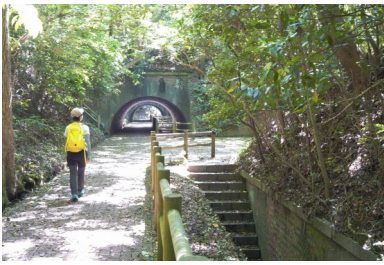
このコースの情報元は、應地会員より教えていただき行ってきました。

5月23日は、和歌山県朝日夕陽百選に選ばれている、
たかつしやま

高津子山(章魚頭姿山)というところ。和歌浦小学校の近くに入道があり、潮騒の小径という木陰の歩きやすい道があります。和歌浦天満宮の裏山である低山の3つの頂



上をゲットできます。章魚頭姿山の頂上には展望台があり片男波のビーチや、和歌浦、そして閑花王や日本製鉄(株)の工場も一望でき、とても眺めが最高でした。春には桜が咲くようです。



5月30日には、休暇村 紀州加太にある散策コースを歩いてきました。レンガ道には、砲台跡があり、歴史を感じることができます。また海まで降りることもでき、地の島、友が島、淡路島が一望でき行き来する船を眺めるのも心地よい景色でした。



さて冒頭で、ラストスパートと申しましたが、目標達成の道は大変険しくゴールが全然見えておりません。健康を意識し運動してみれば、かえって食欲が増えてしまい運動して消費したカロリーをかなり上回るカロリーを摂取してしまうという悪循環に陥っています。ダイエットの難しさをひしひしと感じ、あきらめないために詩を朗読します。

「ここにいる」

何度も失望と絶望を繰り返し
 何度もあきらめそうになった
 自分を信じられなくなり
 何のためにやっているのか
 わからなくなったときもあった
 苦しかった
 つらかった 逃げ出したかった
 その度に自分を奮い立たせ
 何度も立ち上がった
 何度も壁にぶち当たり
 乗り越えるたびに強くなった
 あの日の自分に伝えたい
 今ワタシはここにいる
 あきらめなかったからこそ
 ここにいる

ダイエットという見えないゴールに向かって、あきらめないで頑張ります。未来の健康な自分づくりに励みたいと思っています。

幹事報告 [井上幹事]

- 1.ロータリーレートは109円
- 2.6月10日 活動報告の発表
- 3.第15回臨時理事会
 - ①【意義ある奉仕賞】に箕島高校への職業紹介事業を推薦する 承認

- ②6月24日 予定の卓話者飯豊氏が東京在住のため、諸般の事情により今回の卓話はご遠慮いただき、例会内容は例年通りの最終例会を予定する。承認
- 4.本日例会終了後 第12回定例理事会

卓 話



会員
成川 守彦 君

「ロータリーは大きく変わるのか？ロータリー未来形成委員会について」

《別紙参照》

閉会・点鐘

(橋爪(誠)会長)



次回
6/17(木)は
休会です

誤記のお詫びと訂正

週報No.2973におきまして、以下の記載に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

- ・3 ページ左段 例会運営委員会の文章 上から12行目
 (誤)「新年度も当面はコロナ禍新年度も相変わらずコロナ禍が継続されるので」
 (正)「新年度も当面コロナ禍が継続されるので」

2021年6月3日卓話（成川守彦）

「ロータリーは
大きく変わるのか？
ロータリー未来形成委員会
について」

ロータリーの変遷と発展

軌道修正 1

- 1905年 ロータリー創立
一人一業種で新進
- 1906年 シカゴ・クラブ定款制定
業務上の利便・親睦
- 1907年 シカゴ・クラブ定款改正
社会奉仕の概念の導入
- 1907年 ポール・ハリス会長就任
会員増強、クラブ拡大、
地域への奉仕活動
公衆便所設置運動
社会奉仕活動の実践

ロータリーの歴史をふり返ると

これまで大きな三つの危機が見られ
いくつかの軌道修正が見られる

先人達はその都度適切な判断を下し



ロータリーは進化してきた

軌道修正 2

- 1908年 チェスリー・ペリーと
アーサー・シェルドンの入会
ロータリーの建設者
精神的骨格形成者
- 第1の危機
ポール・ハリス会長辞任
親睦派と奉仕派の論争
- 1910年 全米ロータリー・クラブ連合会の誕生
奉仕理念の追求・クラブ拡大
- 1911年 The National Rotarian 誕生
1月に機関誌第1号
→1912年 The Rotarian
- 1911年 ロータリー・モットーの採択
一般奉仕概念の制定

1912年 ロータリー・クラブ国際連合会に改称

1910年カナダ（米国外初）
ウィニペグRC誕生

模範的クラブ定款5ヶ条
クラブ管理の標準化

1915年 ロータリー倫理訓の採択
職業奉仕基準の確立

軌道修正3

標準クラブ定款制定
クラブ管理の標準化

1916年 ロータリー通解発刊
ロータリー運動の標準化

1923年 決議 23-34採択

第2の危機

奉仕活動の原則の確立

1927年 目標設定計画の採用

軌道修正5

四大奉仕への転換

1934年 「四つのテスト」初めて発表

1943年ロータリーで採用

第3の危機

1937～1942年第二次世界大戦

加盟国・会員の減少

1962年 W C Sプログラム導入

軌道修正6

世界社会奉仕活動開始

1966年 W C S財政援助制限撤廃

金銭的援助の緩和

1917年 アーチクラフ基金創設
ロータリー財団の始まり

軌道修正4

1920年 日本最初の東京RC誕生
創立会員25名（登録番号855）

1921年 米国外で初の国際大会
スコットランド；エジンバラ

国際奉仕の綱領化
国際奉仕概念の制定

国際ロータリー（RI）に改称
RIもRCも同一綱領

1922年 クラブ定款・細則の改正
クラブ管理の抜本的改正

1978年 3-Hプログラム

RI 主動型の奉仕活動

1986年 ポリオプラス正式に発足

2005年ポリオ撲滅宣言

1987年 職業奉仕に関する声明

職業奉仕概念の変更

1989年 女性が初めてロータリーに入会

RI 定款の変更

1991年 国際ロータリーの使命変更

団体奉仕活動の提唱

1992年 決議92-286採択

社会奉仕基準の改正

1994年 西半球がポリオの無発生地域に

1998年 ロータリーセンター設置

2002年1期生入学

2000年 西太平洋地域がポリオ無発生宣言

2001年 Cyber Rotary Club

軌道修正7

地区リーダーシップ

軌道修正8?

2004年 クラブリーダーシッププラン導入

2005年 ロータリー創立100周年記念

S R F 委員会の概要

- 2018年7月、R Iにおいて
「**ロータリー未来形成委員会**
(SRF委員会：6名構成)」が発足
- **Barry Rassin 氏が委員長**
- **Tom Thorfinnson 最高戦略責任者が
委員会担当者**

ロータリー未来形成

Shaping Rotary's Future
= SRF

Shape = 形削り, 成形

委員会の目的

「次代のロータリーの在り方（ガバナンス；
組織統括）についての検討」

- 「地区リーダーの役職、研究会、会長代理、
地域リーダー」の効果
- **地域化 (Region) のモデル**（理事と地区の間に
位置する任意のリーダー役職など）
- **地区関連の事項（理想的な地区数、規模、リー
ダーシップ構成、ガバナーの任務など）**

2022年の規定審議会に「制定案」 として提出される予定

- 検討内容については、これまで「極秘事項 (Very Confidential)」とされてきましたが、**2020年11月19日のRI理事会**に検討内容と提案が**報告**され、以後、極秘扱いではなくなりました。

SRF委員会の考え方②

- ③ **ロータリーの行動計画** (より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、参加者の積極的な関わりを促す、適応力を高める)
 - ④ **多様性、公平性、開放性 (DEI)**
- の**4つを確認**し合い、さらに大いに留意すべきこととして「**ロータリーの地域化 (Region) への切望**」と「**リーダーシップの役職における責務**」の2つを挙げています。

SRF委員会の考え方①

- SRF委員会は、今後のロータリー (ロータリー未来形成) で大切にすべきこととして、
- ① **中核的価値観** (奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ)
- ② **ビジョン声明** (私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。)

変革の根拠

(ロータリー未来形成に取り組むに至った理由)

- ロータリーの行動計画のうち、特に「**参加者の積極的な関わりを促す**」と「**適応力を増す**」

の二つの目標達成のため、

「**会員のニーズにあった、そして皆に指導的立場に立つ機会を提供する機敏なガバナンス構造が求められた**」から

上記の内容を分かり易く言い換えれば

- 「ロータリーの地域化 (Region) への切望」に応えるというもの
- 現在の地区制度やガバナー制度が十分に機能していないという判断が「変革の根拠」であり、その変革のキーワードは「地域化 (Region)」であることが強調されました。

変革の方向性 (4つの問題点) 2 (ロータリー未来形成の方向性)

- ②多くのロータリーの役職は、指名によって決まることが少なくありません。その場合、その人の人格・能力によるのではなく、名前が通っているかどうかで決まってしまう。これでは、昇格する人は限定されます。

<選挙制の導入>

変革の方向性 (4つの問題点) 1 (ロータリー未来形成の方向性)

- ①地区ガバナーは、1年間で果たすべき仕事が300以上あり、100クラブ以上を担当している場合もあります。自己の職業上、さらに個人的にもしなければならぬこと以外に、ガバナーとして多くの責任を負い、期待に応えなければならず、多くの旅行もあります。ガバナーによっては、とても耐えられないことと感じている場合もあり、ロータリー発展のために能力を発揮できずじまいにもなりかねません。<ガバナー制度の限界>

変革の方向性 (4つの問題点) 3 (ロータリー未来形成の方向性)

- ③ローターアクトクラブはRIの構成員になり、ローターアクターはロータリアンと協力しながら、このガバナンス過程に加わるべきです。

<ローターアクトの活用>

変革の方向性（4つの問題点）4 （ロータリー未来形成の方向性）

④クラブの挑戦目標・要望・優先順位は変わっていきます。国際組織として、クラブが皆同じサイズの服を着るというアプローチ（つまり一律）というのは、地域に合った会員増強・地域社会奉仕に対して効果的であるとは言えません。

<多様性の尊重>

クラブの平均会員数

	2004-05	2010-11	2020-21
日本	44	39	38
世界平均	37	35	32
(会員は、徐々に減少しています)			
有田RC	42	37	29
私の入会時（1978年4月）：51名（最多：61名）			

SRFから提出された資料

ロータリー入会后、全世界で、何年に亘って会員でいたかの過去5年間の平均

2年間は会員でいて辞めるのが約11万人と一番多く、その後、下降しつつ、10年間に亘って会員でいて辞めるのは38,000人です。

クラブの創立からの年数

- 日本のクラブは創立50～60年が590クラブと多く、
- 10年未満と10～20年はそれぞれ約50クラブ
- 日本は、新しいクラブの誕生が特に少ないということです。
- インドは、創立10年未満のクラブが1400クラブもあります。

変革（新しいガバナンスモデル）の内容

- **地区制度の廃止、ガバナー制度の廃止**
（ゾーンやR I 理事選出方法については従来通り）。
- **Region**：世界を言語・文化等で**20～40**の**地域（Region）**に分ける。
- **Section**：**地域（Region）**を、**25～30**の**クラブから成る Section**に分ける。

変革（新しいガバナンスモデル）の内容

- **Region Level**：世界を**20～40**の「**Region**」に分ける（**日本は、1 Region**のみ）
- **Section Level**：世界を**1500～1600**の「**Section**」に分ける（**日本は、102 Section**）
- **Section Leader** —— **Section Leader-Elect**
各Sectionに1名
Club（RC、RAC）

変革（新しいガバナンスモデル）の内容

- **Global Volunteer Cadre**：R I 理事会とロータリー財団管理委員会が**任命**する。
- **Regional Council**（**任期3年**）：地域（Region）毎に、クラブの**選挙**で選ばれる。
- **Sectional Leader**（**任期2年**）：Section毎に、クラブの**選挙**で選ばれる。

Cadre (k'ædri) :幹部 **Council** :評議会

①Global Volunteer Cadre の設置

R I 理事会とロータリー財団管理委員会（TRF）は従来どおりで、

その下に **Global Volunteer Cadre** を置く
（R I 理事会とTRF管理委員会が任命）
人数は未定。

②Regional Council の設置

Global Volunteer Cadre の下の・Regional level に **Regional Council** を置く。

- ・ Council は、Region内の**クラブの選挙**で選ばれる（**任期3年**）
- ・ 言語や文化等で世界を20～40のRegionに分ける（**Council も20～40人**）。日本は1 Regionなので、**日本のCouncil は1人**だけ。

③Sectional Leader と Sectional Leader Elect の設置

Regional Council の下の Sectional level に **Sectional Leader** を置く。

- ・ **Leader**は、Section内の**クラブの選挙**で選ばれる（**任期2年**）。
- ・ **Leader**は、**25～30**のロータリークラブ、ロータクトクラブを支援する。

②Regional Council の設置

- ・ **Council立候補者**は、**Region内**のRC,RACの会員。
- ・ Council は、RI 理事会に対し責任があり、個々の理事に対して責任はない。
- ・ Council は、Regionで賦課金を徴収できる。
- ・ 日々の活動のための Regional Council 委員会 を置くことができる。

③Sectional Leader と Sectional Leader Elect の設置

- ・ Sectionは、**世界で1500～1600**。原案では**日本は102 Section**
- ・ Sectionへの支援は、Leader と Leader Elect により行われる。
- ・ **Sectionでは、賦課金は徴収できない**。

上記の内容が実施されれば、

- 地区補助金は Section 補助金に変わります。
- また、グローバル補助金は、先ずは Region で承認します。
- なお、現在のゾーン には変更はなく、ゾーン単位の R I 理事選出についても変更はありません。

R I 理事会の決定

- ③ 変更へのニーズを意義ある形で提案し、バリュープロポジションを固めることを目的に、ロータリアンとローターアクトを対象としてバーチャル形式で意見を集めることを事務総長に要請する。

R I 理事会の決定

- ① ロータリーの未来形成委員会が提案した「新しいガバナンスモデル（変革構造モデル）」をさらに固め、2021年4月の R I 理事会で報告することを承認する。
- ② モデルへの変更についてのフィードバックを募るため、2021年1月から、事務総長と未来形成委員会が協力し、シニアリーダー（理事、理事エレクト、理事ノミニ、管理委員、管理委員エレクト）との小グループのディスカッションを開始するよう要請する。

そういうことで

今後のスケジュール

- 2021年4月：SRF委員会が「変革構造モデル」の具体案を R I 理事会に再度報告
- 2022年4月：規定審議会において、パイロット実施に関する決定
- 2023年7月：6つのパイロット地域（日本は含まれない）におけるエレクト年度が開始

今後のスケジュール

- 2023年7月～2024年6月：パイロット地域の**研修**
- 2024年7月～2030年6月の6年間：パイロットの**実施**
- **2030年7月以降：導入**（地区制度とガバナー制度が廃止、新しいガバナンス体制がスタート）

まとめ②

ローターアクトクラブは Regional Council、Sectional Leaderを選ぶ**投票権を有し**、
ローターアクターはそれらの役に**立候補する権利**があります。

まとめ①

SRFの「新しいガバナンスモデル（変革構造モデル）」は、大まかに言うと、**地区をなくし**、**ガバナーやガバナー補佐もなくし**、**世界を言語・文化等で20～40の地域に分け**、クラブの**選挙で選ばれる3年任期の地域 Council**を置く。その下に、**25～30のクラブを支援する2年任期のクラブ選挙で選ばれる Sectional Leaderを置く**という内容です。

まとめ③

こうした変革内容を固めた構造モデルが**2022年4月の規定審議会**で採択されれば、未来の夢計画と同じように、**6つのパイロット地域（Region：台湾など）**を設けて**実験を行う**ことになります。